

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	24603
事業名	冬のみちづくりプラン推進費					
評価担当課	所属名	建)土木部 雪対策室計画課				
	課長名	新沼 俊司	担当者名	玉上 直人	電話番号	011-211-2682
施策名	主	雪と共存した暮らしの推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	「除雪作業日報作成支援システムの導入台数(累計)」を2022年度までに1,000台とする。			
		長期	「札幌市冬のみちづくりプラン2018」に基づき、除雪従事者の不足や高齢化の進行などによる除排雪体制維持の困難化や除雪経費の上昇など、雪対策を取り巻く様々な課題や変化に対応した取組を推進し、「安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現」を図る。			
	取組内容	①「札幌市冬のみちづくりプラン2018」に基づく取組 ・PS排雪制度・生活道路除雪作業の見直しに関する調査・検証、 ・新たな雪処理施設の整備検討、雪対策施設更新計画の策定 ②ICTを活用した除雪体制の構築 除雪車への安全装置設置、日報電子化支援システムの導入、雪堆積場の搬入先選定の自動化 ③広報・啓発等				
実施結果	①PS排雪の実証実験(大雪によりシーズン途中で実験見合わせ)及び生活道路除雪作業の試行に関する調査・検証 ②除雪車への安全装置設置(55台)、除雪作業日報作成支援システムの運用及び改良 ③動画の作成、「冬のくらしガイド」の全世帯配布などによる広報・啓発					
事業実施における工夫点	実効性のある取組を推進するため、除雪シーズン終了後に市民や除雪事業者等へのヒアリング及びアンケート調査を実施し、得られた意見等を踏まえ取組効果の検証を行う。					
対象者	市民	開始	平成21年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	自治基本条例					
他都市の状況	道内の多くの自治体では、雪対策に関する基本計画を策定し、様々な取組を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	158,603	187,000	186,886	240,000	
うち特定財源	3,744	6,120	4,173	4,384	
人工	2.5	2.9	2.9	3.2	
人件費	18,000	20,880	20,880	23,040	
計(事業費+人件費)	176,603	207,880	207,766	263,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	需用費:6,251千円、委託料:139,055千円、使用料及び賃借料:200千円、備品購入費:39,391千円、その他:1,989千円			
	令和4年度予算	需用費:7,000千円、委託料:178,700千円、使用料及び賃借料:300千円、備品購入費:54,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	除雪車への安全装置設置台数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	110	134	133	176	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	除雪作業日報作成支援システムの導入台数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	500	700	708	1,000	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	「札幌市冬みちプラン2018実行プログラム(令和元年12月策定)」等(以下「計画等」という。)で設定された指標が、概ね計画通りの進捗であるため、事業の成果・達成度は高いといえる。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	計画等で設定された指標が、概ね計画通りの進捗であることから、事業規模は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	外部委託、直営で行う事業を効率的に行っている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	B	市民意識調査(令和3年度)では、「除雪に関する事業について、よくやっていると思うか」との設問に対して、「そう思う・ある程度そう思う」が48.0%と全施策で4番目に高く、「思わない・あまり思わない」が26.0%となっている。 一方で、「除雪に関する事業について力をいれてほしいと思うか」との設問に対して、「そう思う・ある程度そう思う」が73.5%と全施策で1位となっており、全体として、「満足度が高く、期待度が高い」施策であると位置づけられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	計画等に基づき取組の進行管理を行うとともに、社会環境や市民ニーズの変化に応じて、適宜取組内容の見直し等を行う。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	効率的に取組を実施することができた。引き続き「安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現」に向けて、計画等に基づき取組を推進していく。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 計画等に基づく取組や、ICTを活用した除雪体制の構築などを実施。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 「アクションプラン2019」計画事業費に基づき、適切な予算措置を行う。		見直し効果額	0 千円